

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 11 月 4 日 (2021.11.4)

【公表番号】特表 2020-535867 (P2020-535867A)

【公表日】令和 2 年 12 月 10 日 (2020.12.10)

【年通号数】公開・登録公報 2020-050

【出願番号】特願 2020-517415 (P2020-517415)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/16 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/16

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 9 月 22 日 (2021.9.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

絶対眼内圧測定値を取得するために患者の眼の中に移植される眼内圧検出インプラントと、

大気圧測定値を取得するための外部装置と、
を含み、

前記眼内圧検出インプラントは、指定時刻における絶対眼内圧力測定値を取得するように構成され、前記外部装置は、前記指定時間前後の複数の大気圧測定値を取得するように構成される、眼内圧 (IOP) 検出システム。

【請求項 2】

前記眼内圧検出インプラントは、第 1 の内蔵時間管理装置を備え、前記絶対眼内圧検出インプラントは、前記第 1 の内蔵時間管理装置によって示される指定時刻における眼内圧測定値を取得するように構成される、請求項 1 に記載の IOP 検出システム。

【請求項 3】

前記外部装置は、第 2 の時間管理装置を備え、前記外部装置は、前記第 2 の時間管理装置によって示される指定時刻前後の複数の大気圧測定値を取得するように構成される、請求項 2 に記載の IOP 検出システム。

【請求項 4】

前記外部装置は、前記指定時刻前後に延在する時間窓内の複数の大気圧測定値を取得するように構成される、請求項 1 に記載の IOP 検出システム。

【請求項 5】

前記複数の大気圧測定値の間の偏差の指標を決定するために前記複数の大気圧測定値を解析するように構成された処理装置をさらに含む、請求項 1 に記載の IOP 検出システム。

【請求項 6】

前記処理装置は、前記偏差が予め定められた範囲内にあるかどうかを判定するように構成される、請求項 5 に記載の IOP 検出システム。

【請求項 7】

前記処理装置は、前記偏差が前記予め定められた範囲内にある場合に、前記複数の大気圧測定値の 1 つ以上を絶対眼内圧測定値と相関させるように構成される、請求項 6 に記載

の I O P 検出システム。

【請求項 8】

前記処理装置は、前記相関させた大気圧測定値および絶対眼内圧測定値からゲージ眼内圧測定値を計算するように構成される、請求項 7 に記載の I O P 検出システム。

【請求項 9】

前記処理装置は、前記外部装置と別個である、請求項 5 に記載の I O P 検出システム。

【請求項 10】

前記外部装置は、1 つ以上の大気圧測定値を 1 つ以上の絶対眼内圧測定値と相関させる際に支援するために、前記眼内圧検出インプラントに同期情報を無線送信することによって同期操作を実行するように構成される、請求項 1 に記載の I O P 検出システム。

【請求項 11】

前記同期情報は、固有の識別値または時間の記録を含む、請求項 10 に記載の I O P 検出システム。

【請求項 12】

前記外部装置は、予め定められた時刻にまたは間隔で、前記同期操作を自動的に開始する、請求項 10 に記載の I O P 検出システム。

【請求項 13】

前記外部装置は、前記同期操作を開始することを前記患者に指示するように構成される、請求項 10 に記載の I O P 検出システム。

【請求項 14】

前記指示は、警報音を含む、請求項 13 に記載の I O P 検出システム。

【請求項 15】

前記同期操作を開始するステップは、前記外部装置を前記患者の眼から 12 インチ以内に配置することを含む、請求項 13 に記載の I O P 検出システム。

【請求項 16】

前記同期操作は、前記眼内圧検知インプラントに内蔵の第 1 の時間管理装置を前記外部装置に内蔵の第 2 の時間管理装置と同期させるステップを含む、請求項 10 に記載の I O P 検出システム。

【請求項 17】

前記外部装置は、前記患者によって着用されるように構成される、請求項 1 に記載の I O P 検出システム。